

新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

令和3年5月12日
九州硬式少年野球協会
九州北部地区連盟

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、これまで連盟として感染防止対策のガイドラインや各種通達を適宜発出してきたが、現在の世間の状況やこれまでの連盟での活動の実態を考慮し、新しく感染防止対策のガイドラインを次の通り定める。

各球団の指導者、選手及びすべての関係者は、このガイドラインに従って適切に活動し、改めて新型コロナウイルス感染拡大防止に努めることとする。

【活動に関して】

1. 活動に参加する選手、指導者、保護者等すべての関係者は、当日検温を行い、体調不良がある場合や37.5度以上の発熱がある場合は、参加不可とする。
体調不良は、咳、喉痛、痰などの風邪の症状だけでなく、下痢、腹痛、味覚/嗅覚障害、足が痛い、胸が痛いなど、体に少しでも異常がある場合は、活動参加不可とする。
2. 選手に対して、活動への参加を強制してはならない。必ず、保護者の同意を得ること。
3. 活動に参加するすべての関係者は、マスク着用を義務付ける。
ただし、選手が屋外で活動する際は、熱中症などに考慮し、適切な距離(約2m)を確保するように指導した上で、柔軟に対応することを認める。
4. 活動を行った際は、別紙の「安全対策チェックリスト」に毎回記入し、確認を行った上で保管しておくこと。
5. 練習開始前、練習中、練習後のこまめな手洗い、うがい、手指消毒の慣行を義務付け、球団として手指用消毒液、ハンドソープを常備すること。
6. 共通で使用する道具(バット、ヘルメット等)、バス、道具車は、適宜消毒を行うこと。
7. バスや車で送迎を行う際は、必ずマスクを着用し、できる限り密を避けて乗車人数を抑え(目安は1/2)、車中の換気を行うなど、十分に感染対策を講じること。
8. 密閉空間でのミーティングは行わないこと。
9. チームキーパー等、選手が共用で使うようなものは、使用しないこと。
10. 保護者の球団活動への参加は、できるだけ必要最小限になるように考慮すること。

【公式戦及び練習試合に関して】

1. 前述の【活動に関して】を遵守すること。
2. ベンチ内では、指導者、選手同士の間隔確保に努めること。十分な間隔確保が難しい場合は、ベンチ外で待機させること。また、選手には、必要に応じてマスクを着用させること。
(コーチーズボックスでのマスク着用を認める)
3. アナウンスは、3密にならないように配慮して行うこと。施設の構造などで3密回避が難しい場合は、アナウンスは行わないこと。

【その他】

1. 行政府及び各市町村・教育委員会から指示が出た場合は、優先して速やかに従うこと。
2. 球団から感染者が出た場合は、別途協会から出ている「新型コロナウイルス感染等発生時の球団活動に関するガイドライン」に従うこと。
3. 大会運営に当たっては、前述の【活動に関して】を遵守し、球場責任者の指示に従うこと。